

異文化理解研修（韓国）参加者レポート 2014

総合政策学部 2 年 伊野田万裕

今年 8 月、韓国の蔚山大学校で行われた異文化理解研修に参加しました。私にとっては初めての海外だったので出国前は不安と緊張でいっぱいでしたが、研修には本学の友人が多く参加していたため、楽しく過ごすことができました。

蔚山大学校では、韓国語の授業のほかに文化体験学習として韓国の遊び・料理教室。テコンドーなどを学び、授業のあとは韓国の学生と食事や買い物に出掛けました。

私が思い浮かべていた韓国の姿と、実際に行って見た姿は少し違っているように感じました。予想以上に違っていたのは食文化です。店に入ると店員の挨拶後、まず初めに出てくるのがキムチでした。これは日本でいうところのつき出しと同じだと思いますが、どの店に入ってもキムチが出てくるというのはとても面白い光景で、これが韓国の食文化だと感じました。料理もたいていは辛く味付けされていたので、辛い物が苦手な私にとって食事は水を飲みながらの戦いでした。しかし、中には辛くない料理も多数あります。特にジャージャー麺は甘辛く味付けされていますので、日本人にオススメです。

韓国は日本から一番近い国ですが、そんな近い国でさえも考え方や感じ方が違いました。違う文化を理解するためには自分の国の常識だけで物事を見ては他国の文化を受け入れることはできないと感じました。1 か月という短い間でしたが、たくさんの人や文化に出逢えることができ大きく成長することができました。

総合政策学部 1 年 有元優奈

私は 8 月に行われた異文化理解研修に参加してきました。韓国への異文化理解研修に 1 年生で参加するのは異例の事なのですが、今回はたくさんの方の尽力のおかげで参加することが出来ました。尽力してくださった方々には多大な感謝をしなければならないと感じています。

私は異文化理解が何なのかと聞かれてははっきりとした答えを言えません、言葉の通りに説明すれば他の文化を感じ理解することなんだと誰しもが分かるでしょう。私も言葉通りのものだと考え研修に参加しました。しかし、韓国と日本は文化的に近いので 2 つの違いが私にはあまり感じられませんでした。もちろん、トイレの事や車のスピードの事、食事に辛い物が多い事など感じた部分もあるのですが、私にはたいした違いには感じられませんでした。自分で考えていたよりも日本と韓国は生活面ではあまり変わらないんだなと思いました。なので、生活をする点で不自由に思う点は少なかったと思います。しかし、たくさんの方の韓国の方と話をさせていただいて日本とは違うなと感じたところがありました。それは精神的な面です。韓国では日本よりもはっきりとものを言う所があると感じまし

た。それに人と人との距離が近い気がします。韓国へ行く前から韓国人は日本人に比べ、そういう所があるとは知っていましたが、直接話してみると、やはりそうなんだなと感じました。日本人にはそういう所が合わないと感じる人も多いようですが、私は素敵だなと感じました。例えば、韓国人の人は喧嘩をしたりすると2人で飲んで互いの良くないと思う所をいって、お互いに納得しなうまで話し合うのだそうです。それを聞いて、私はとても素敵だと思いました。私辞しは他人に対してあまりはっきりものを言うタイプではないのですが、はっきりという人を素敵だなと思います。また、自分もそのような人でありたいと感じました。なので、私から見ると韓国人のたちらのはっきりとした生活は好ましく感じられました。また、韓国人の皆がそうなのではなく、1人1人個人差があることも分かりました。はっきりとは言うけれども、言い方にもそれぞれ違いがあったりして、楽しかったです。また、韓国人の人ははっきりものを言う人が多いからか、いい人が多いように感じました。嫌なことははっきりというので、親切な行動は本心からだと感じられるし、本当に相手を想って行動している人が多いように感じられました。そのため、この研修に来る前よりも韓国人のたちらが好きになったような気がします。韓国の文化や料理なども知ることができ、大変楽しかったです。韓国人と話ができ、韓国人の事が知れて良かったです。この事が異文化理解というほど大きな問題につながっているとは直接には感じられませんが、韓国という国の事を知る大きな一歩にはなったと感じました。このように一歩一歩の積み重ねが異文化理解につながるのだと思います。



▲新たな出会い



▲韓国の旧都

また、研修中での授業は大変楽しいものでした。クラスメイトに恵まれたというのものもあるかもしれませんが、本当に楽しく韓国語の授業を受ける事ができました。私は1-Cというクラスで決して高いクラスではないのですが、私のレベルにあったクラスだったと思います。知らない文法や単語なども授業の中で自然に知ることが出来ましたし、何より学習のために良かったのは先生だと思います。わたし達の授業を担当してくださった先生型は全く日本語を話せない方で最初はちゃんと授業ができるのか大変不安だったのですが、ジェスチャーなどで一生懸命説明してくれる先生を見ると、こちらもしっかりと理解しようと一生懸命になることができました。また、先生

との会話はもちろん全て韓国語ですので自分が知っている範囲内ではありますが、韓国語でなんとか相手に気持ちを伝えようと自然に頑張ることが出来ました。先生方も会話をしようと積極的に話しかけて下さいましたし、大変良い先生方に出会えたと思います。また、クラスメイトも大変良かったです。同じ島根県立大学の1年生とは一緒になれませんでした。2年生の方がたくさんいて、クラスを大変盛り上げていました。これも良い雰囲気です。授業を受けることができた一つの要因だと思います。先輩もそうですが、同級生にも恵まれたクラスだったと思います。同じ大学の1年生はいませんが、目白大学や福岡大学の1年生と仲良くできて楽しかったです。それに、違う大学の1年生はどんなふうに韓国語を習っているのかが聞けて、私ももっと頑張らなくちゃ、と思える良い刺激になったと思います。そんな良いメンバーだったので飲み会をしたり、ダンスの練習をしたりと楽しく毎日を過ごすことが出来ましたし、協力しあうことができたのだと思います。今回の研修で自分の至らないところも強く感じたので、日本に帰ってからの学修にもさらに力を入れて頑張らなければいけないと考えました。良い友達もできたし、韓国語を楽しみ、学習意欲も高めることも出来た、とても良いクラスでの学習でした。



▲ 韓国の正装



▲ テコンドー

私は今年の4月から韓国語の学修を始めました。韓国語の学修に関心を持ち始めたのは、高校生の時からで大学に入るまでは本当に少しだけ勉強していたりもしましたが、発音の難しさにすぐにくじけた覚えがあります。大学で勉強をはじめても先生に教えてもらいながらだと、なんとか勉強が進む様子でした。私はもともと、あまり勉強熱心なタイプではないので韓国語の勉強も先生に促されながらの学修が多かったです。留学への関心も大変あり、してみたいとは常々思っていました。関心よりも単位や資金の不安のほうが大きい状態でした。そんな中で、ゼミの教授にとりあえず韓国へ行ってみたいと考えるのも良いのではないかという言葉に動かされ、今回の異文化理解研修に参加しました。結果的には参加して良かったです。この研修に参加して1番感じたのは、自分の努力不足でした。同じ1年生の皆にもいつの間にか大きな差をつけられていましたし、韓国では私の浅はかな韓国語の知

識では全くと言っていいほど会話ができず、そのことで大変歯がゆい思いをいたしましたし、情けない思いもしました。私は韓国で自身の勉強不足をいたく痛感しました。すぐには難しいかもしれませんがこれからはさらに意欲的に韓国語の学習に取り組み、積極的に韓国語を話す機会をもうけたいと思います、2年生になるころには韓国で生活するには困らずに会話ができ、韓国語の本も辞書に頼らずに読めるようになりたいと考えています。そのためにはまず、夏休みの間に先生に出された課題を行い、基本単語の記憶に励み、韓国語のCDを毎日聞こうと思います。また、韓国で韓国語の学習に役立てばと買って来た、韓国語で書かれた同様の本を読み終わりたいと思います。10月には韓国語検定も受けるので、そこで合格することも目標の1つとしたいと思います。留学に関しての不安も少なくなったようです。今は1か月でこんなに充実した意味のある時間を過ごせるなら、たとえ卒業が少し延びたとしても1年間留学するのも良いのではないかと考えています。また、互いの異文化理解も深めなければならないと感じました。留学に行く前も本などを読んで韓国と日本の文化の違いを勉強したりもしましたが、実際に韓国へ行き韓国の人たちと話してみると本などで見るものよりもより身近で大事な韓国と日本の相違を知ることができました。これからも本などでの学習はもちろん、今回の留学で会った韓国の人達とのコミュニケーションを通じて互いの文化の違いを学びたいと思います。



▲蔚山らぶ！



▲歌の授業

最後に次の海外留学への関心について述べたいと思います、私は前々から韓国への長期留学は考えていましたが、長期留学により卒業が延びてしまうことをずっと懸念していました。現在の制度ですと、交換留学で1年留学するにしても単位互換が少ししか出来ず4年で就活に響いてしまって卒業を遅らせる必要がありますし、ダブル・ディグリー制度で2年留学するにしても韓国語で単位を取るのにはかなりの努力が必要になり2年で必要な単位を取るのには難しいとの話ですので、いっそ半年間だけの留学にしてしまおうかとも考えていました。そんなふうに迷っていることを担当のゼミの先生に相談したところ、今回の異文化理解研修への参加を勧めていただき、多くの方の協力のもと今回の異文化理解研修に参加することが出来ました。今回の異文化理

解研修を1か月蔚山大学校で蔚山大学校の学生に支えられながら大変良い日々を過ごさせていただき、このような場所でなら例え卒業が延びたとしても1年以上の長期留学をする価値はあるのではないかと感じました。蔚山大学校で良くしてくださった学生の方たちには本当に感謝しなければなりません。また、今は蔚山大学校以外にも大邱大学校への留学にも少し興味がでてきました。場所もそうですが、時期についても資金などの問題で2年次に行くが3年次に行くかで迷っています。今のところ、韓国への長期留学はするつもりでいますのでいつ、どれくらい行くのかを今回の経験や長期留学に行ったことのある人に話を聞いたりしながら決めて2年次には韓国で生活するのにも困らないくらいの語学力を身につけたいと考えています、これから、ますます韓国語の授業に力をいれていかなければならないので、今までの学習を見直して、先ほど述べたように夏休みの間から学習態度を正していきたいと考えています。



▲蔚山大学での研修修了！



▲歓送会の後の一枚

また、今回初めて海外へ行って見て大変興味深い事や面白い事、感慨深い事がたくさんあったので韓国以外の国も見てみたいと感じました。アメリカや中国はもちろん、インドやオーストラリアにも興味があります。現在、語学として本気で学ぼうと考えているのは中国語です。長期留学は難しいにしても短期でもいけたらいいなと考えています。その他の国も企業研修や旅行など機械があれば積極的に参加していきたいと考えています。私たちが韓国へ行っている間に自分自身でオーストラリアに1か月ホームステイした知り合いがいるのですが、そういうのもいいなと考えています。しかし、色々な国に興味を持ちすぎて今勉強している韓国語が中途半端になってはいけないので、韓国語の学習を第一に考えて、その後に中国語や英語の学習に力を入れていきたいと思っています。

今回の異文化理解研修で初めて行った海外ですが、大変良い経験になりましたし、得るものが多い研修だったと思います。今回の異文化理解研修を糧としてこれからも色々なことに挑戦、努力していきます。



★TEAM KOREA★